

新出生前診断学習会

『あなたはどうか考えますか！？』

妊婦の血液から胎児のダウン症などの障害を調べる新型出生前診断が始まりました。この新型出生前診断は、妊婦の腹部に針を刺して羊水を採取する従来の検査に比べ、格段に安全で簡単にできるとされています。

しかしこのことは一方で、「異常」が見つければ人工妊娠中絶へという流れにもつながりかねません。

日本ダウン症協会も、「母胎内で育ちつつある命とそれを幸福と不安の中に育てている妊婦さんのために、出生前検査をマスキングとして一般化することや安易に行うことには、断固反対します。」との声明を発表しています。

私たちはこの問題に対しどのように考えればいいのでしょうか。

技術の進歩は私たちに豊かな生活をあたえてくれるのでしょうか。

最終的には個人の判断、ということですかまさせていいのでしょうか。

障がい当事者の立場、親の立場、支援する立場など、それぞれの思いをお聞きしながら、多くの皆さんと考えたいと思います。

期日 2013年11月30日(土) 13時半～15時半

会場 仙台市福祉プラザ第2研修室 仙台市青葉区五橋2丁目12番2号

駐車場は台数に限りがありますので、地下鉄等の公共交通機関をご利用ください。

○話題提供 杉山 裕信さん (C I Lたすけっと) 障害当事者の立場から
小林 厚子さん (障碍児と共に歩む会)
ダウン症の家族の立場から
石川 雅之さん (共育を考える会)

参加費 無料

主催 共育を考える会

問い合わせ先 仙台市宮城野区松岡町17-1

Tel & Fax 022-299-1279【コッペ内 担当 飯嶋】

E-mail muginokal@k5.dion.ne.jp